

ふくし滑川

第108号

平成29年5月発行

発行／滑川市社会福祉協議会

〒936-0051 滑川市寺家町104 滑川市庁舎東別館2階(旧市民会館)

TEL 475-7000 FAX 475-9671 <http://www.nashakyo.net>



「わいわいルーム」 はじまりました！

レクリエーション活動を通して
運動機能向上中

介護保険法改正により、平成29年4月から緩和型デイサービス「わいわいルーム」を開始しました。この事業は、簡単なゲームや体操などをしながら過ごしていただき、介護予防や健康維持を目指すものです。

毎週火曜日 10:00～13:30 滑川市民交流プラザにて



◇もくじ◇

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. わいわいルームの紹介 | 4. いきいきふれあいサロン事業 |
| 2. 平成29年度予算概要 | 民生委員児童委員・介護支援専門員合同研修会 |
| 3. 日常生活自立支援事業・家族介護者交流サロン | 5. ボランティアセンターからのお知らせ |
| | 6. 善意銀行だより |

平成 29 年度予算概要

滑川市においても少子高齢化の進展とともに、支援を必要とする高齢者も増加しています。また、引きこもりや社会的な孤立、子どもの貧困といった新たな福祉課題も顕在化しています。

こうした状況を受けて、地域を基盤とする中で、課題を抱える方々を支える仕組みとして、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を念頭に、地域包括ケアシステムの構築や、生活困窮者自立支援制度などが始まっています。

そこで本会では第 3 次滑川市地域福祉活動計画を策定し、その基本理念「手から手へ ぬくもりつなぐ なめりかわ」の実現に向けて、身近な地域での住民のつながり・支え合いなどの地域ネットワークの強化や、各種制度につなげるなど、これまで以上に共助の層を厚くしていきます。

◇平成 29 年度重点事業◇

(単位：千円)

1. 住民主体による「地域で支えあう住民活動」の推進

- ・ケアネット・福祉見回り隊事業 (7,665)
- ・地区社会福祉協議会との連携強化 (703)

2. 住民の参画と協働によるまちづくり

(1) 地域福祉活動の推進

- ・介護予防ふれあいサロン事業 (2,058)
- ・広報誌「ふくし滑川」の発行とホームページ等による福祉情報の提供 (557)
- ・社会福祉大会の開催 (530)
- ・ふれあい総合相談センターの運営費 (864)
- ・ファミリー・サポート・センターの運営費 (300)
- ・支え合いマップフォローアップセミナー (200)
- ・共生型サロン育成事業【新】(215)

(2) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進

- ・ボランティアセンター運営費 (167) ・災害ボランティアセンター運営実施訓練 (100)
- ・手話奉仕員養成講座 (800) ・児童生徒のボランティア体験講座 (134) ・ボランティア養成講座 (139)
- ・福祉教育出前講座 (64) ・福祉教育ボランティア学習連絡会 (100) ・ボランティアの集い開催 (100)
- ・ボランティア保険の加入受付 (30) ・除雪支援ボランティアの育成

3. 在宅福祉サービスの推進

(1) 在宅介護事業の推進

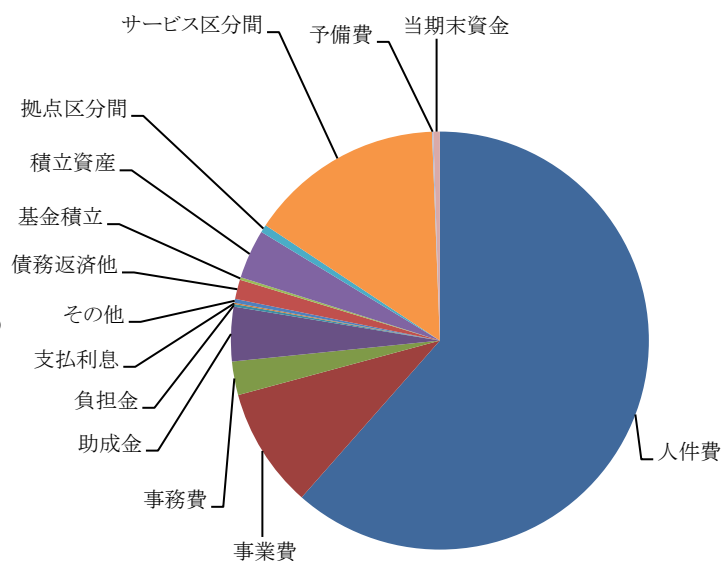
- ・訪問介護事業 (31,909) ・居宅介護支援事業 (23,008) ・障害者居宅支援事業 (5,054)
- ・「富山型デイサービス あったかホーム」の運営 (56,613)
- ・介護予防日常生活支援総合事業「わいわいルーム」【新】(2,260)

4. 個別援助活動の推進

- ・車椅子送迎用車両の貸出サービス (200) ・日常生活自立支援事業 (2,194) ・家族介護者交流事業 (210)
- ・寝具乾燥丸洗いサービス事業 (236) ・生活福祉資金の貸付事業 ※富山県社会福祉協議会と連携
- ・生活困窮者自立促進支援事業 (400) ※滑川市福祉介護課・富山県東部自立支援センターと連携
- ・「地域ふれあい食堂(仮称)」の開設【新】(400)

5. 社会福祉協議会の基盤強化

- ・第 3 次滑川市地域福祉活動計画に基づいた事業の推進
- ・地域福祉活動アドバイザーの設置
- ・滑川善意銀行への預託の啓発
- ・赤い羽根共同募金活動の推進と配分金使途の啓発



総額 221,812 千円

日常生活自立支援事業

高齢や障害などにより、自分ひとりで金銭や書類などの管理をすることに不安のある方に、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理のお手伝いをして、できるだけ住み慣れた地域で安心して暮らせるようにサポートするのが日常生活自立支援事業です。

福祉サービス利用のお手伝い

- 福祉サービスの利用の相談
- 福祉サービス利用のための手続き



日常的な金銭管理のお手伝い

- 金融機関での生活費の出し入れ
- 公共料金等の支払
- 年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- 計画的な生活費のやりくり

利用料

1回 1,000 円

(他に月 300 円の事務費がかかります)

大切な書類等のお預かり

預貯金通帳、年金証書、保険証書、不動産権利証書、契約書、実印、銀行印、など
※お預かりした書類等は、銀行の貸金庫で保管します。

利用料

月額 500 円

生活支援員さんを募集しています！

滑川市社会福祉協議会では、日常生活自立支援事業を利用される方を一緒にサポートして下さる生活支援員を募集しています。

生活支援員の活動とは…

- 公共料金等の支払、毎日の生活に必要なお金の出し入れのお手伝い
- 年金や福祉手当の受領に必要な手続き支援
- 介護サービスの契約・解約の支援や情報提供、相談 など

人と接するのが好きな方、地域で困っている方を手助けしたいと考えている方、生活支援員として活動してみませんか？ご興味を持たれた方は、滑川市社会福祉協議会までお問い合わせください。

家族介護者交流サロン

在宅で常時、要介護高齢者の方を介護していらっしゃるご家族に、情報交換や交流を通してリフレッシュをしていただく交流会を年3回開催しています。

今年度は第1回目として福祉用具の体験や食事などをしていただく交流会を開催します。

ご興味を持たれた方は、滑川市社会福祉協議会までお問合せ下さい。

第1回家族介護者交流サロン

- 【と き】 平成 29 年7月7日(金) 9:30～15:00
- 【と ころ】 富山県介護実習・普及センター(サンシップとやま)
- 【内 容】 福祉用具体験・昼食
- 【定 員】 10名(先着順)
- 【参 加 費】 500 円
- 【申込期限】 6月 20 日(火)まで
- 【申 込 先】 滑川市社会福祉協議会





介護予防ふれあいサロン事業

滑川市では 35 団体がサロン活動をしています。(平成 29 年 4 月現在の登録)
今回は、あらためてサロンとはどのようなものかご紹介したいと思います。



◎ふれあいサロンってなに？

「ふれあいサロン」は、地域の中で仲間づくりや世代間交流などを行い、人と人とを結ぶふれあいの場として、地域の皆さんが運営する、地域の皆さんが主役のサロンです。

身近な公民館などで、楽しく話して笑い、時間を過ごすことで、寝たきりや認知症の最大の要因とも言われる“閉じこもり”を予防できます。

お茶を飲みながらおしゃべりをしたり、レクリエーションやミニコンサートを開いたりして、多種多様な活動を定期的に開催し、楽しみながら仲間づくりをします。

(例) ○介護予防の学習・体操 ○レクリエーション・ゲーム ○調理実習や食事会
○世代間交流 ○カラオケや手芸教室など自分みがきの場 など



◎サロンに参加することであらわれる効果

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1、生きがいができる | 2、適度な精神的刺激 |
| 3、生活にメリハリができる | 4、閉じこもり予防 |
| 5、無理なく体を動かせる | 6、健康について意識するようになる |
| 7、仲間づくり | 8、地域交流・地域の福祉力向上 |



など

滑川市社会福祉協議会では、サロンの新規立ち上げや運営に関する相談、
サロン(レクリエーション)道具の貸出をしています。
ご希望の方はお問合せください。



民生委員児童委員・介護支援専門員合同研修

平成 29 年 3 月 9 日、滑川市民生委員児童委員協議会・介護支援専門員協会合同研修会を開催しました。
この研修会は民生委員児童委員と介護支援専門員が顔を合わせることで、連携を強化し、地域の要支援対象者への支援をスムーズに行うことを目的とし毎年開催しています。



今回は、生活困窮者への支援にスポットをあて研修会を開催しました。金城大学社会福祉学部 教授 内 慶瑞 氏による「新しい貧困と身の丈支援」と題した基調講演の後、東部自立支援センター所長代理 水井 勤 氏、オタヤこども食堂代表 田辺 恵子 氏、西加積地区民生委員児童委員協議会会長 高橋 啓子 氏による事例発表が行われました。

基調講演や事例発表から、生活困窮者が抱える様々な福祉課題を、それぞれが出来る形で支援していくことが大切であり、支え合えるお互いさまの地域づくりを目指さなければならないと改めて強く感じました。



「誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

滑川市ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティア活動保険に加入しましょう

滑川市ボランティアセンターでは、ボランティア活動中の「万が一」に備えるため、ボランティア活動保険にご加入することをおすすめしています。

加入対象者 滑川市社会福祉協議会の会員ならびに滑川市ボランティアセンターに登録されているボランティアグループ、団体、個人

年間保険料 350 円(基本タイプ A プランの場合)
その他、地震などに対応した天災タイプなど3タイプあります。
※平成 29 年度から保険料が変わりました。

主な補償内容 ・ボランティア活動中、転んでケガをした場合(ケガの補償)
・活動中に誤って他人にケガをさせたり、誤って他人の物を壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負った場合(賠償責任の補償) など

補償期間 平成 29 年4月1日～平成 30 年3月31日
※中途加入の場合、加入日の翌日～平成 30 年3月31日までの補償期間となります。



1日だけのボランティア行事用保険もあります。

詳しいことは滑川市ボランティアセンター(市社会福祉協議会内)までお問い合わせください。



ボランティア登録しませんか？

- ・趣味や特技を活かしてみたいと思っている方
- ・なにか始めたいと思っている方
- ・ボランティアグループを結成しようと思っている方 などなど



ボランティア活動に興味がある方、まずは滑川市ボランティアセンターに登録しませんか？
ボランティアグループ活動や結成のお手伝いもさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

防災研修会を開催しました

平成 29 年 3 月 6 日に、災害時における備えや心構えを学ぶとともに、防災に関する知識を身につけていただくことを目的に研修会を開催しました。

富山県防災士会 理事 川戸 眞二 氏より、「過去の大災害から学ぶ」と題した講演を聞き、災害の種類や発生する時間による対応の違いを学びました。

災害時は、まず命を守ることの大切さ、地域で助け合うことがいかに大事かということを再認識し、参加者の方の感想の中に「町内会で話し合いを持ちたい」「いざという時、はたしてどのように動けるか考えてみたい」「防災グッズを準備したい」とありました。





滑川善意銀行だより

皆様の心あたたまる貴重な善意、誠にありがとうございます。

平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日までに預託（一般・指定）された方々
のご芳名は下記のとおりです。（順不同・敬称略）

金員預託（寄付）

※金額については希望者のみ掲載しています。

氏 名	住 所	氏 名	住 所	金 額
(故) 石尾 ムツ子	大町	(故) 濱西 ゆり子	神明町	
(故) 森川 ハツエ	法花寺	(故) 大村 貞史	清水町 2 区	
中屋 一博	加島町	(故) 浜田 善雄	加島町 2 区	
(故) 霊崎 智恵子	安田	(故) 白岩 初郎	田中町	
(故) 倉本 一郎	高月東部	天 勝		
(故) 戸田 貞	堀江	(故) 岩山 新之助	追分	100,000
(故) 高川 マツ子	柳原	滑川商工会議所女性会		30,000
(故) 志甫 ミユキ	常盤町 1 区	匿名 4 件		88,000
(故) 高橋 ヨシエ	大崎野	愛のともしび箱（市内 16 ヶ所）		53,540

物品預託（寄付）

氏 名	住 所	物 品
中西 道子	上小泉	手縫い雑巾 400 枚
匿名		介護用オムツ

金員預託合計（12/1～3/31）

一 般 預 託	21 件	706,540 円
指 定 預 託	0 件	0 円
合 計	21 件	706,540 円



善意銀行では、金額の大小を問わずあたたかい善意に基づく金銭や物品のご寄付（預託）をお受けしております。預託された金銭・物品等は、市民の皆様に貸し出しております車いすの購入や、車いすごと乗れる車両の貸出支援等、滑川市の福祉に役立てられています。

社会福祉への感謝の気持ちをぜひ善意銀行へお届けくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

善意銀行の窓口は、滑川市社会福祉協議会内にございます。



この広報は一部共同募金の助成金により発行されています